

UMIN 35 周年に寄せて

UMIN 担当システムエンジニア
株式会社 千葉プランニング

弓削 真希子

UMIN センター35 周年、誠におめでとうございます。

私は、現在、宮崎に住んでおります。宮崎から VPN (Virtual Private Network) 環境を使って、毎日 UMIN にアクセスし、開発作業等行っております。私が最初に SE (System Engineer) として UMIN センターに常駐したのは、今から 15 年以上前になります。2008 年、宮崎から上京した私は UMIN センターに常駐することになりました。それまでも SE として働いておりましたが、医学関係の仕事をしたことはなく、また Web 関連の開発もしたことがありませんでした。そのような状態で大丈夫なのか不安に思いつつ、足を踏み入れました。当時の開発室には、SE が 7、8 名常駐していたかと記憶しております。女性は 1 人もおらず、先輩方ばかりで、開発室の雰囲気も出来上がっているところに足を踏み入れるのは大変勇気がいりました。最初に任されたのは利用者管理システムでした。ソースを読んで調べて、家では開発言語の問題集を解いたり繰り返しながら与えられた仕事を必至にこなす毎日でした。そのうち、前担当者の異動のタイミングで、EPOC、DEBUT システムを引き継ぎました。それから 5 年程 UMIN に常駐し、リプレースも 2 度経験させて頂き、SE としてたくさんのごことを勉強させて頂きました。それから私は地元である宮崎へ戻りました。宮崎でも SE の仕事を続けておりましたが、UMIN の開発環境を思い起こすと PC 1 つをとっても、とても恵まれていた環境で仕事が出てきた事を痛感する日々でした。そうこうしているうちに、2020 年、コロナが大流行しました。コロナに振り回された 2020 年も終わりに近づき、やっと宮崎でもリモート環境が少しずつ整い始めた頃、UMIN の SE の先輩から「木内先生が連絡をとりたくて仰っているのだけど、連絡先を教えても問題ないだろうか」と連絡がありました。UMIN を辞めてからかれこれ 8 年程経っていましたので、どうしたのだろうか？何か不始末が今頃になって発覚したのだろうか？と不安に思いつつ、木内先生と数年振りに連絡をとらせて頂きました。Zoom で久しぶりに木内先生とお話させて頂いたのですが、久しぶりの木内先生はなんだか若返っているようで、相変わらずお元気にご活躍されているのだなと大変嬉しく思いました。そして、木内先生から「僕はこれまで仕事はちゃんと出社しなければ出来なかったと思っていましたが、コロナが流行ってリモート環境を整えるしかなく、やってみたら、リモートでも仕事出来る事がわかった。宮崎にいるままで構わないのでまた UMIN で働いてもらえないか」という打診を頂きました。まさか、そのようなお話だとは思ってはおらず驚いたのですが、とても有り難く、そこからリモートという形でまた UMIN で仕事させて頂く事となりました。

私が UMIN からはなれていた時期に変わった事の 1 つにスマートホンやタブレットの利

用率の増加があげられると思います。以前は、利用者の方々が大学にある共有 PC を使いまわしていることも多かったため、Basic 認証による認証がそのままになっており、他の UMIN ID でログインしたまま評価を入力しているのに気づかず、入力したはずの評価が登録されていないといったお問い合わせも多々あったように記憶しております。今ではスマホは誰でも持っているので、Web 開発もレスポンシブデザインが当たり前になってきています。私は、現在、演題システムを主に担当させて頂いております。演題システムに関しましては、UMIN 設立当初から開発、運用されているもので、出来上がっているものではありますが、より使いやすいものになるよう改良を重ねているところです。私自身が演題を投稿するといった経験をしたことがありませんので、使いづらさなどについては利用者様からのご意見が非常に貴重になります。演題システムは利用者も多いため、至らぬ点多々あるかと思いますが、時代のニーズを取り入れ、利用者様から頂いたサービスに対する不具合や使いづらさ等を 1 つでも改善できるよう心掛けてまいりたいと考えております。